

(6)クラック漏水量調査

平成 14 年 9 月～12 月までクラック漏水量を調査し、その間の貯水位と降雨量と共に図 2.7 に示す。貯水位と漏水量との間に相関性は認められない。降雨後に漏水量が若干増加する傾向が伺える。

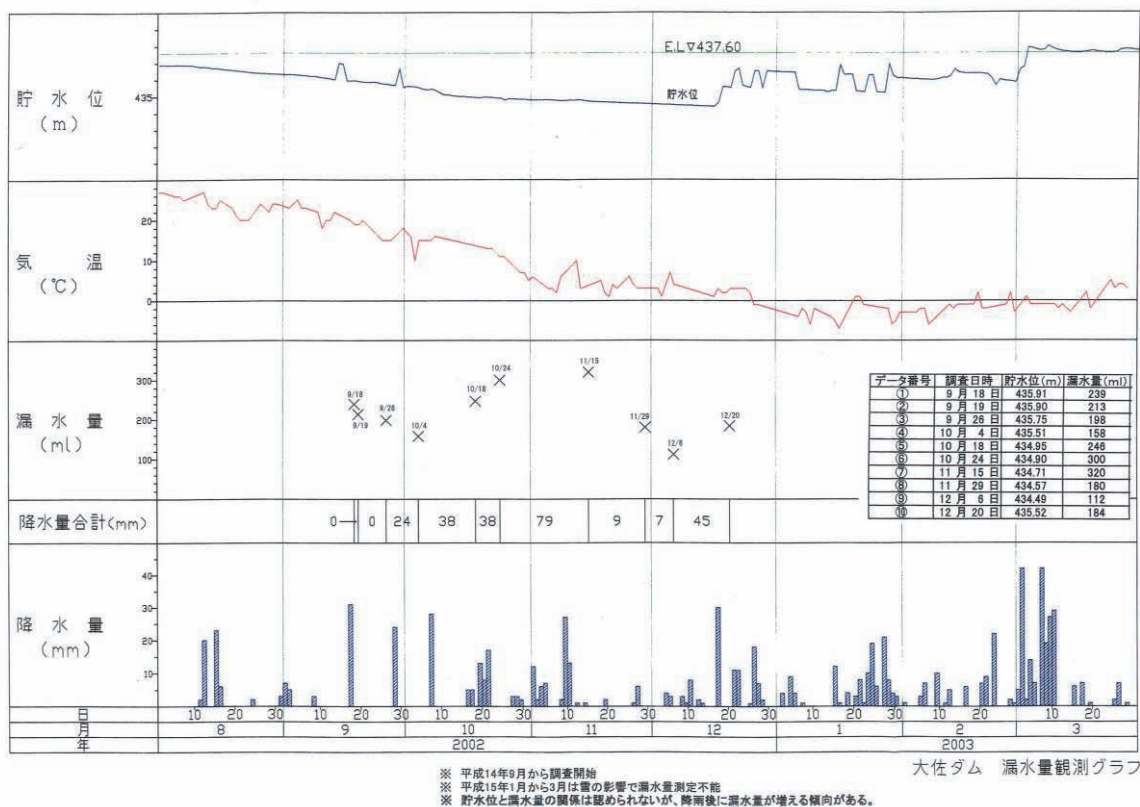
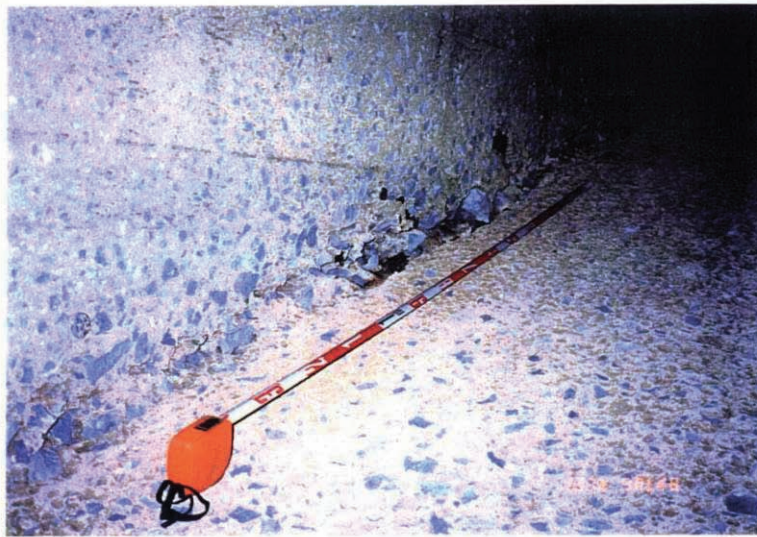


図 2.7 クラック漏水量観測結果

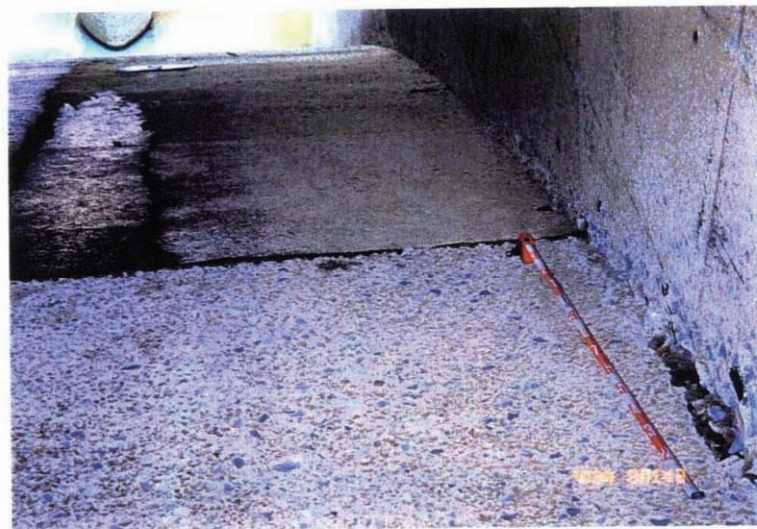
2.3.2 アバタ状劣化部調査

(1)目視調査

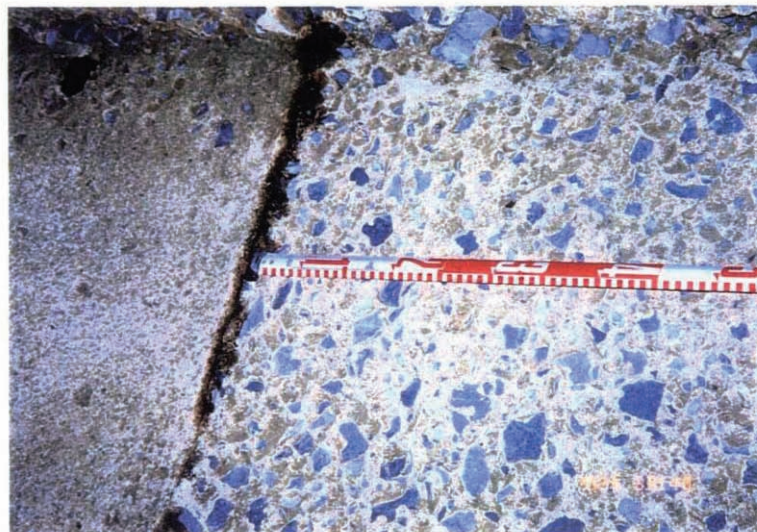
アバタ状劣化部の状況の写真を写真 2.9～11 に、スケッチ図を図 2.8 に示す。アバタ状劣化は、常用洪水吐下流開水路底面、側面下部、減勢工の側壁、副ダム排水穴内部等水際部分に発生している。



常用洪水吐  
掃流側部  
隅角部洗堀



同上  
上から外を望む



同上  
打設境界部  
右が上位

写真 2.9 アバタ状劣化状況(1)